

## 2021 東北学院大学 ボランティア実習生の感想

### S. H さん

私はシニアネット仙台でのボランティア活動に参加して、高齢者の方々の学ぶ意欲を感じた。自らを成長させる場として、シニアネット仙台が居場所になっていると感じた。その居場所となるシニアネット仙台を運営している事務の方々もまた、事務作業を通して自らを成長させる場として、シニアネット仙台が居場所になっているのだと感じた。NPO法人と聞くと、利益がないのにどうしてだろうというイメージがあったが、実際にNPO法人の方々とかかわることで、人間の本質は資金的な利益を得ることではなく、学ぶことや知識を得ることにあるのだと感じられた。とてもパワフルな高齢者の方々とお話することや、一緒に学ぶことはなかなかない経験だったため、とても楽しく活動することができた。大学にいて学ぶことが当たり前前の生活になってしまっていたが、高齢者の学ぶ意欲に触れることで、人間にとって学ぶことは生きがいなのだと再確認させられた。ボランティアとして貢献すべきであったのに、私のほうが多くの発見や得ることがあったように思う。今回の経験や考えたことを忘れずに、今後の就活に活かしていきたいと感じた。

### S. N さん

シニアネット仙台でのボランティアで一番印象に残ったのは、高齢者の方々が何から何まで自分たちの力で自主的に行っているということだ。普段のサークルの運営はもちろん、活動資金の収集やサロンスタッフの配置、会報の発行、クリスマス会や旅行の企画運営までを全て有志のスタッフで行っていることに驚いた。パソコンの操作や会報の送付準備の作業など、互いに助け合いながらできない部分を補い合い、精力的に活動されている姿を、一緒に活動しながら間近で見ることが出来て、とても勉強になった。そして、会員の方が口々におっしゃっていたのは、「シニアネット仙台が自分の居場所だ」ということだ。家にいてもやることがないし、話し相手もないという高齢者たちの方たちの居場所づくりのためにスタッフの方々が努力しているのを見て、シニアネット仙台のように高齢者が活躍できる場所を守っていく必要があると思った。また、あれだけのエネルギーが発揮あるのに、高齢者が家にこもってしまっているのはもったいないので、シニアネット仙台のような施設がもっと増えたらいいと思った。そのためには資金の問題や人手の問題などがあるが、そこにボランティアがどのように関われるかが課題だと感じた。

### T. A さん

「NPO法人シニアのためのネットワーク」にて活動させていただきました。数多くあるボランティアの中でシニアネット仙台を選んだのは、自分にとって普段関わることのない世代の方々と関わる機会が得られると考えたためです。数回の活動を通して一番実感したのは、「誰かと関わることに対する喜び」でした。新型コロナウイルスの影響もあり、家族や友人、アルバイト仲間以外と話したり一緒に何か一緒に活動することはかなり減っていました。そのことに対して不満や不便は特に感じていなかっ

たが、ボランティア活動という講義で縁がありシニアネット仙台で活動させていただくようになり、シニア世代の方々と関わることはめったにないため、緊張もあったがかなり新鮮さを感じました。また、回数を重ねるごとに活動に行くのが、活動先の方々が温かく迎え入れてくれるのが本当に嬉しかったです。シニアネット仙台の方々とのお話は楽しく、とても貴重な時間にすることができました。

### C. Y さん

私は、NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台での活動を通して、運営はお客様がいて成り立つものであることを知ったとともに私も将来高齢者になった時にシニアネットで自分の好きなことや趣味をもつ仲間と一緒に活動を楽しみたいと感じた。近年では新型コロナウイルスの影響もあり、会員数が減少していることから運営の厳しい状況が続いている。しかしながら、実際に活動に参加すると、数時間おきで換気を行う、活動後は使用したものをアルコールで拭くなどの感染対策をしっかりと行っていた。また、活動を通して各活動の面白さや同じ趣味を持った人同士で語り合える喜びや楽しみが日常生活とは異なった非日常を人々に与えているように感じた。趣味とおしゃべりを楽しめて特別な時間を過ごすことができるシニアネットはシニア自身が生きがいや活力に満ちた豊かな高齢社会を歩んでいくために必要であると感じた。そのため、今後はコロナ感染対策をしっかりと行っている事、性別、年齢、職業など関係なく趣味を楽しめる場であることをより多くの人に認知してもらうために私たち大学生がフォローしながら、SNSを使うなどして情報発信をしていくのが良いのではないかと考えた。

### N. S さん

今回、シニアネット仙台でのボランティア活動を通して、最も印象に残ったのは、シニア世代の方々が生き生きと活動されている姿であった。一人一人がそれぞれにやりたいことを見つけて、それを他のメンバーと一緒に楽しんでいるのを見て、若者である私などよりも何倍も積極的に、活発的に毎日を楽しみ過ごされているように感じられた。そのように、シニアネット仙台はシニアの方々が集まって、互いに好きなことを共有し合うことで、繋がりを深めていくことができる場所となっているのだと感じた。よって、高齢期に入って、何か物足りなさや寂しさを抱えているシニアの方にとっては、非常に救いとなる場所になっているのだと感じる。しかし、そのようにシニア世代にとっての良い場所となっているというものの他に、私が今回の活動を通して感じたことはもう一つある。それは、シニアネット仙台は若者にとっても有意義な場所となりうるのではないかとということだ。私はシニアの方々とともに様々な活動をさせて頂いたが、その体験の中では、若者同士では気づけないことや気にしたことがないことなど、普段ではあまり考えることの無かった新たな見方や考え方というものが生まれてきたと感じた。そのように、若者世代にとっても、シニアネット仙台での活動は良い刺激となるものなのではないかと感じた。

## H. K さん

「シニアネット仙台」でのボランティア活動は、人の温かさに囲まれたものであった。活動をさせていただいているにも関わらず、「また来てね」「大学生が来てくれると元気がでる」「来てくれてありがとう」などの優しい言葉をたくさんかけていただき、大学入学から課題に追われてなんとなく大学2年生になってしまっていた私はとても助けられた。ボランティアという立場からの参加ではあったが、逆に「シニアネット仙台」の方々に救われたような気持ちがあった。このようなありがたい気持ちは、団体の存在を広めていくという行動で返していきたいと思う。

主な活動として、興味のある講座に参加するというものがあったのだが、選択肢が豊富で参加の回数を重ねるごとに視野が広がっていくのを感じた。特に、囲碁やパステルアートは初めての経験であったため、印象に残っている。また、ただ講座の内容に取り組むというわけではなく、参加者の方から過去の経験について+αでお聞きすることもでき、非常に充実していた。惜しむことなく自分がこれまで得たものを与えてくださる姿は私の中で理想の姿となった。また、関わられる機会があるのなら少しでも何かを与えられるような存在として参加したいと考える。

## H. Y さん

今回、シニアネット仙台で活動させていただき、シニアの方々がこんなにも明るく温かくキラキラと輝ける場所があることに感銘を受けた。自分の好きなことをするのに年齢は関係ないのだと実感し、私もいつかここで生き活きと活動したいと思うようなとても素敵な場所であった。

NPO法人であるからこそ、運営が難しく、スタッフさんの負担が大きいときもあるというお話を伺ったが、それでも26年続いてきているシニアネット仙台は、やはりたくさんの人々に求められているからこそ、ここまで続いてきたのだと感じた。参加者の方とお話をさせていただいた際に、「行きたいときにいつでも行けて、いろいろな人と関われる場所はなかなかない。だからシニアネット仙台は、大切な居場所になっている」と仰っていた。そのような言葉が口に出ることが、シニアネット仙台があることの意義となり、ボランティア活動の社会的意義を示しているのだと考えた。

また、学生である私たちを温かく受け入れてくれたシニアネット仙台の皆さまに心から感謝しております。何にも代えがたい、素敵な経験をさせていただき本当にありがとうございました。